

資料

資格がプライドになる。

宅建取引士、第1回試験。

はじまる。

第1回 平成27年度

宅地建物 取引士 資格試験

宅建主任者が
宅建取引士に
変わりました。

● 郵送申込書配布期間

平成27年7月1日(水)~7月31日(金)

受験手数料 7,000円 合格発表 平成27年12月2日(水)

お問合せ先 Tel.052-953-8040

公益社団法人 愛知県宅地建物取引業協会

〒451-0031 名古屋市西区城西5-1-14 愛知県不動産会館

<http://www.aichi-takken.or.jp/>

● 主な申込書配布場所

- ・愛知県宅地建物取引業協会本部/支部
- ・各県民相談室
- ・星野書店
- ・ジュンク堂書店
- ・宮脇書店
- ・ちくさ正文館
- ・紀伊國屋書店
- ・くまざわ書店
- ・ブックセンター名豊
- ・鎌倉文庫
- ・第一官報販売所
- ・丸善(株)
- ・精文館書店
- ・正文館書店
- ・同盟書林
- ・三省堂書店
- ・いけだ書店
- ・いまじん

※一部書店に設置しております。
配布場所の詳細情報は、愛知県宅地建物取引業協会HPにてご確認ください。
(TOP→宅建取引士情報→宅建取引士資格試験案内→案内配布期間・場所)

※愛知県で受験できる方は、
愛知県内に住所を有する方に限ります。
指定試験機関 <http://www.retio.or.jp>
(一財) 不動産適正取引推進機構

試験地 愛知県



● 試験日

平成27年10月18日(日)

午後1時~3時(登録講習修了者は午後1時10分~3時)

● 申込受付期間

インターネット受付

平成27年7月1日(水)~7月15日(水)

(午前9時30分から) (午後9時59分まで)

郵送受付

平成27年7月1日(水)~7月31日(金)

(当日消印有効)

インターネット申込みできます

不動産適正取引推進機構

検索

※掲載によっては読み取れない場合があります。

● 宅地建物取引士とは

◆多くの人にとって、マンションや一戸建など不動産の購入は、一生に一度の大きな買い物であり、とても重要な事柄です。その大切な不動産の取引について、消費者の保護の立場から、物件に関する重要事項の説明などを行うのが宅地建物取引士です。

◆このように宅地建物取引士は、不動産取引の専門家として重要な役割を担っており、宅地建物取引業者（一般的にいう不動産業者のことです。）の従業員5人につき1人以上の割合で設置が求められるなど、不動産業界で活躍するためには必須の国家資格となっています。

◆また、宅地建物取引士の資格*は、金融機関をはじめとする多くの企業においても高く評価されています。そして、拡大する不動産投資市場においても、基礎となるスキルを身につける上で不可欠な資格となっています。

* 宅地建物取引士の資格登録をしている者→全国で約94万人（H26年3月末現在）
（平成27年4月1日より、「宅地建物取引主任者の登録」は「宅地建物取引士の登録」に名称が変更されています。）

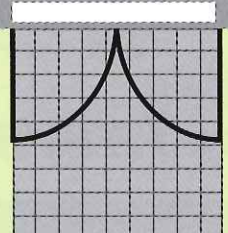
● 宅地建物取引士資格試験（宅建試験）とは

◆宅地建物取引士資格試験は、不動産取引の専門家である宅地建物取引士に必要な知識を問う試験で、その内容は宅地建物取引業法のみならず、不動産取引に密接に関連する民法等の法令など多岐にわたり、最もチャレンジしやすい資格試験としても知られています。

◆宅地建物取引士資格試験は、一度合格すると一生有効です。ただし、宅地建物取引士として実際の仕事に従事する場合には、都道府県知事への登録・取引士証の交付を受けることが必要となります。

試験の概要

- 受験資格 年齢、学歴等に関係なく、誰でも受験できます。
- 実施時期 年1回（10月第3日曜日）
- 試験地 原則として、居住している都道府県内の試験場
- 試験内容
 1. 宅地建物取引業法などの宅地建物取引業者を規律する法令
 2. 民法、借地借家法などの不動産取引の基本となる法令
 3. 都市計画法、建築基準法などの土地・建物を制限する法令
 4. 所得税法、地方税法などの土地・建物に対する税を規定する法令
 5. 地価公示法、不動産の鑑定評価などの宅地・建物の価格の評定に関する法令や知識
 6. 不当景品類・不当表示防止法などの不動産の需給に関する法令や実務の知識
 7. 土地・建物に関する知識



「リノベーション・コンバージョンと建築改修工事技術」 開催のご案内

主催 一般財団法人 建築保全センター
 後援 国土交通省
 一般社団法人 公共建築協会
 一般財団法人 建築コスト管理システム研究所

協賛協力団体

一般社団法人全国建設業協会	公益社団法人日本建築積算協会
公益社団法人全国ビルメンテナンス協会	一般社団法人日本ビルディング協会連合会
一般社団法人日本左官業組合連合会	一般社団法人全国タイル業協会
一般社団法人日本塗装工業会	一般社団法人日本建築板金協会
公益社団法人ロングライフビル推進協会	一般社団法人全国中小建設業協会
一般社団法人日本サッシ協会	一般社団法人日本建築あと施工アンカー協会
一般社団法人カーテンウォール・防火開口部協会	全国ビルリフォーム工事業協同組合
公益社団法人日本建築士会連合会	建築改装協会
一般社団法人日本建築士事務所協会連合会	日本外壁仕上業協同組合連合会
一般社団法人日本建設業連合会	日本樹脂施工協同組合
一般社団法人全国防水工事業協会	低圧樹脂注入工法協議会
一般社団法人日本タイル煉瓦工事業協会	日本建築仕上材工業会

講習会プログラム

時間	項目
9:00～9:30	受付
9:30～9:35	開会挨拶 (一財) 建築保全センター 専務理事 寺本英治
9:35～10:20	基調講演「リノベーション・コンバージョンと建築改修工事技術」 首都大学東京名誉教授 深尾精一
10:30～12:30	1章～4章(監理指針と標準仕様書) 一般共通、仮設、防水改修、外壁改修 (一財) 建築保全センター 参事 新宅浩明
12:30～13:30	休憩
13:30～15:30	5章～7章、9章(監理指針と標準仕様書) 建具改修、内装改修、塗装改修、環境配慮改修 (一財) 建築保全センター 技術開発部長 相場 洋
15:30～15:45	休憩
15:45～16:30	8章 耐震改修(監理指針と標準仕様書) (一財) 建築保全センター 専務理事 寺本英治

- 講習会教材の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成25年版)」、「建築改修工事監理指針(平成25年版)(上巻)」及び「建築改修工事監理指針(平成25年版)(下巻)」をお持ちの方はご持参ください。お申込み時に購入することもできます。
- この講習会は、継続能力/職能開発研修に参加しようとする建築士、建築設備士及び建築施工管理技士の「建築CPD情報提供制度」のプログラムに認定されています。また、国土交通省後援講習会として「営繕業務関係特別認定講習会」(ポイント加算対象)にも認定されています。

講習会の開催に当たって

我が国の建築物の総量は、約 80 億㎡に及ぶと言われていています。このうち約 1 割を占める公共建築の約半分が完成から 30 年を超えており、これら建築物をより長く大切に使うことが求められています。平成 25 年 11 月には政府の「インフラ長寿命化基本計画」が策定され、国及び地方公共団体は所有する公共施設について、適切な点検・診断、修繕・更新等により、長寿命化の行動計画を策定することが求められています。また建築物の長寿命化においては、改修と共に建物の利用用途の変更を行うコンバージョンも重要な技術です。

本講習会では、政府の多くの委員会、次世代公共建築研究会リノベーション・コンバージョン部会長などでご活躍されている深尾精一首都大学東京名誉教授に「リノベーション・コンバージョンと建築改修工事技術」基調講演をしていただきます。

また「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（平成 25 年版）及び「建築改修工事監理指針」（平成 25 年版）をテキストとして、改修工事技術について、技術の要点と改定点を総合的に解説いたします。人口減少が見込まれるこれからの時代では、建築も都市も「新しくつくること」から「賢く使うこと」への転換が求められており、多数の方がこの講習会に参加されますようご案内いたします。

一般財団法人建築保全センター
理事長 尾島 俊雄

講習日程・会場

開催地	開催日時	会場名・所在地	募集人員	申込受付期間
東京	平成27年10月2日(金) 9:30~16:30	ニッショーホール 東京都港区虎ノ門2-9-16 TEL 03-3503-1488	120	平成27年6月15日(月) ~9月18日(金)
大阪	平成27年10月6日(火) 9:30~16:30	エル・おおさか 大阪市中央区北浜東3-14 TEL 06-6942-0001	80	平成27年6月15日(月) ~9月24日(木)
福岡	平成27年10月9日(金) 9:30~16:30	福岡建設会館 福岡市博多区博多駅東3-14-18 TEL 092-631-4600	60	平成27年6月15日(月) ~9月25日(金)
札幌	平成27年10月16日(金) 9:30~16:30	北海道開発協会 札幌市北区北11条西2丁目 TEL 011-709-5211	60	平成27年6月15日(月) ~10月 2日(金)

- 受講料 会員 8,000 円（レジメ・資料、消費税等を含む。）
非会員 9,000 円（レジメ・資料、消費税等を含む。）
納付された受講料は、特別な理由（事故、入院等）以外は原則として返金いたしません。
※会員とは、以下の公共機関、団体の会員をいいます。

- ・（一財）建築保全センター賛助会員
- ・国・地方公共団体、公団・公社公的機関の職員
- ・後援、協賛団体の会員

- テキスト
- ①「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成 25 年版）」国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
受講者特別価格 4,600 円（税込み）
 - ②「建築改修工事監理指針（平成 25 年版）（上巻）」国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
受講者特別価格 7,200 円（税込み）
 - ③「建築改修工事監理指針（平成 25 年版）（下巻）」国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
受講者特別価格 6,600 円（税込み）

■申込方法（※申込後、受講票を送信いたします）

⇒当財団のホームページ（<http://www.bmmc.or.jp/>）から申し込む場合
トップページの「業務のご案内」⇒「講演会・講習会」⇒「受講申込書（ボタン）」の順にクリックすると、参加申込フォームが表示されます。必要事項を入力頂き「送信（ボタン）」をクリックしてください。

⇒FAX で申し込む場合

「開催のご案内」の申込書を切り取り必要事項を記入し、FAX（03-3553-6767）で送信してください。

※お申込みを受け付けましたら

①ホームページ申込の場合、受付票を送信します。また、ご入金確認後、「受講票」を送信します。

②FAX 申込の場合、ご入金確認後 FAX にて「受講票」を送付します。

■申込締切 各会場共に定員になり次第、又は講習日程表の申込受付期間で締め切ります。

■申込先 一般財団法人建築保全センター

お問合せ

〒104-0033 東京都中央区新川 1-24-8

TEL 03-3553-0070 FAX 03-3553-6767

E-mail: kousyukai@bmmc.or.jp

担当：影山、押切

平成27年度 建築改修技術講習会申込書

官公庁名 会社名		所属部課名		連絡担当者	
E-mail アドレス					
所在地 〒				開催日	
TEL () -		FAX () -		会場 ○で囲む	
				・東京 ・大阪 ・福岡 ・札幌	
受講者氏名	所属部課名	受講料	会員 (後援、協賛団体名)	名×8,000円= 円	
			非会員	名×9,000円= 円	
			合計	円	
		テキスト	①公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) (平成25年版)	冊×4,600円= 円	
			②建築改修工事監理指針 (平成25年版) (上巻)	冊×7,200円= 円	
			③建築改修工事監理指針 (平成25年版) (下巻)	冊×6,600円= 円	
			合計	円	
			総合計	円	
			請求書	1. 必要 2. 不要 (○で囲む)	

【申込について】

- ・支払は、原則として前納をお願いします。下の「払込取扱票」を切り取ってご使用下さい。
 - 請求書を必要な方は申し出て下さい。申込書受領後請求書をお送りします。
 - ・入金確認後、受講票を送付します。お手元に届くまで1週間程度要する場合がありますので、ご了承下さい。
 - ・テキストのみの購入はホームページ (<http://www.bmmc.or.jp>) か、FAX (03-3553-6767) でお申込み下さい。
- <問合せ先> (電話) 03-3553-0070 (E-mail) kousyukai@bmmc.or.jp (担当) 申込状況等 影山、押切

切り取ってご使用ください

00	東京	払込取扱票	
口座記号・番号はお間違えないよう記入してください。			
口座記号		口座番号 (右詰で記入)	
※00150	※8	72152	金額
加入者名 ※ 一般財団法人 建築保全センター		料 金	
通信欄 ※ 平成27年度 建築改修技術講習会 「リノベーション・コンバージョンと建築改修工事技術」		事務局記入欄(記入しないでください)	
〒 -		受講料 8,000円× 人 9,000円× 人	
お名前		テキスト代 ①4,600円× 冊 ②7,200円× 冊 ③6,600円× 冊	
おなまえ		日 附 印	
(ご連絡先電話番号 - -)		備 考	
裏面の注意事項をお読み下さい。(ゆうちょ銀行) 此れより下部には何も記入しないでください。			

振替払込請求書兼受領証

※00150	※8	72152	
加入者名 ※ 一般財団法人 建築保全センター		金額	
おなまえ		ご依頼人	
(消費税込み)		日 附 印	
料 金		備 考	
円		様	

この受領証は、大切に保管してください。

CASBEE®

資料一

Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency

建築環境総合性能評価システム

戸建住宅対象

平成27年度 第16回

CASBEE 戸建 評価員講習

★CASBEE-戸建(新築)(2014年版)、CASBEE戸建-既存(2011年版)の評価ツールについて解説します。

《資格取得を希望されない方も受講することが出来ます。》

CASBEEは、平成24年12月施行の「都市の低炭素化の促進に関する法律」における「低炭素建築物の認定基準」で、「低炭素化に資する措置の総合的な評価」のしくみとしてとりあげられ、「LCCM住宅認定」の評価基準にもなっている、現在注目の環境性能評価システムです。ぜひこの機会に受講されますよう、お勧めいたします。

講習開催時間 10:30 ~ 17:00 (受付時間は9:45 ~)、各会場共通

開催地	開催日	申込受付締切日	定員	会場
■東京1会場	9月 1日(火)	8/21(金)	50名	■飯田橋レインボービル (新宿区市谷船河原町11)
■名古屋会場	9月 2日(水)	8/24(月)	45名	■ダイテックサカエ (名古屋市中区錦3-22-20)
■大阪会場	9月 8日(火)	8/28(金)	50名	■千里ライフサイエンスセンター (豊中市新千里東町1-4-2)
■福岡会場	9月14日(月)	9/ 3(木)	30名	■天神クリスタルビル (福岡市中央区天神4-6-7)
■東京2会場	9月29日(火)	9/15(火)	50名	■飯田橋レインボービル (新宿区市谷船河原町11)

講習会申込受付は、7月2日(木)~会場毎の締切日

【試験】10月28日(水)13:50~16:10

4都市

東京・名古屋・大阪・福岡

[受験資格] 建築士資格(一級、二級、木造)

※受験を希望される方は、講習の受講が必要です。また試験の申込時点で建築士資格(一級、二級、木造)をお持ちの方に限られます。
※試験会場については、受験票送付の際にご案内いたします。(講習会場と場所が同じとは限りません)

試験の申込締切日は 10月13日(火)まで

申込み方法 (先着順での受付とし、締切日前でも定員になり次第受付を終了します。)

■申込方法

次のアドレスにアクセスして下さい → <http://www.ibec.or.jp/CASBEE>

※予約受付フォームから必要事項を入力して下さい。WEBからの申込は用紙に記入する手間がはぶけ、仮予約がとれますのでおすすめです。FAXによる申込もできますが、FAXの場合は、事前振込制となります。振込後のFAX申込となるため、場合によっては満員に達しており、申込をお受けできない可能性があります(満員の場合は、後日振込手数料を差し引いてのご返金となります)。よって、WEBからのお申込みをおすすめ致します。

注意事項

注1) お電話での受付は致しません。必ず所定の手続きをお願いします。注2) 受講・受験票および購入マニュアル(テキスト)は、7月下旬頃より、ご自宅宛に送付いたします。注3) 講習日の4日前になっても受講・受験票や購入マニュアルが届かない場合は、事務局までお問合せ下さい。注4) お振込み頂いた受講料・受験料は、満員等により当方からお断りをした場合を除き、原則返金や次回講習会、試験への振替はできませんので予めご了承下さい。

主催: IBEC 一般財団法人
建築環境・省エネルギー機構

「CASBEE 戸建」について

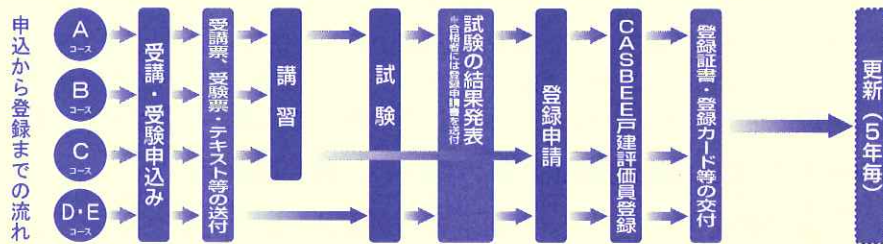
今日の住まいには、快適性や質の高さが求められる一方、環境に与える負荷をできるだけ抑えた住宅づくりが不可欠となっています。CASBEE 戸建（新築）、CASBEE 戸建-既存は、この課題に応えるため、すまいの環境効率（エコ度）を測るものさしとして開発されました。また、CASBEE 戸建（新築）の認証の枠組みを活用して、LCCM 住宅認定制度が運用されております。（LCCM 住宅認定制度とは、CASBEE 戸建（新築）の評価において、環境効率およびライフサイクル CO₂ のランクが基準値以上のものを、一般財団法人建築環境・省エネルギー機構が LCCM 住宅と認定する制度です。当財団 HP をご覧ください。http://www.ibec.or.jp/lccm/certifying.html）また、平成27年度からは「CASBEE 住戸ユニット（新築）」についても評価することが認められています。

「CASBEE 戸建評価員登録制度」について

一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構（略称 IBEC）では、CASBEE の基本理念を正しく理解し活用できる技術者を養成するため「CASBEE 戸建評価員登録制度」を設けています。CASBEE 戸建評価員とは CASBEE 戸建（新築）または同一既存評価マニュアルを使って適正に評価の行える知識と技術を有する者として IBEC が認めた専門技術者のことです。戸建評価員になるためには、一級、二級、もしくは木造建築士の方で IBEC の主催する CASBEE 戸建評価員講習（又は自治体等の主催で実施される認定講習（戸建評価員の受験資格を得られる講習会））を受講し、試験に合格して登録する必要があります。CASBEE 戸建評価員は5カ年の更新制としており、更新の際は所定の更新手続きが必要となります。

申込コース・料金について

※お申込みの際の料金及び添付書類については、下記の早見表をご覧ください。
※別途テキスト購入代金が必要です。



●各コース概要（お申込みの前にご自身のコースをご確認下さい。ご不明な点は、係までお問合せ下さい。）

Aコース：講習と試験を受ける「受講・受験」コースです。

Bコース：講習のみを受講するコースです。

Cコース：CASBEE 建築評価員登録者が「CASBEE 戸建評価員」資格を取得するコースです。試験免除となります。（但し登録申請受付期間は、新規合格者と同じになります。）
受講対象は、講習申込み時点で、「CASBEE 建築評価員登録」をされている方（又は登録申請済で受付済の方）です。

Dコース：試験のみ受験するコースです。試験のお申込み時点で次の①～③のすべてを満たす方が対象です。

①IBEC の講習を修了していること、②受験有効期間内にあること、③建築士資格（1級、2級、木造）をお持ちの方

Eコース：認定講習受講者のコースです。試験のお申込み時点で次の①～③のすべてを満たす方が対象です。

①IBEC が認定した講習（認定講習）を修了していること、②受験有効期間内にあること、③建築士資格（1級、2級、木造）をお持ちの方

※金額は全て税込

項目	金額	Aコース	Bコース	Cコース	Dコース	Eコース
		受講+受験	受講のみ	CASBEE 建築 評価員登録者	受験のみ (Eコース以外)	認定講習受講者の 受験
料 金	受講料	8,100円	○	○	○	
	受験料	15,660円	○		○	○
添 付 書 類	イ. 一級、二級、木造建築士 免許証の写し	○			○	○
	ロ. CASBEE 建築評価員登録証明書(カード又は登録証)の写し			○		
	ハ. 払込金受領証等の写し	○	○	○	○	○
	ニ. 修了証明書又は認定講習の修了証の写し				○	○
費用の合計金額		23,760円	8,100円	8,100円	15,660円	15,660円

戸建評価員登録までの費用

- 受講料 8,100円
- 受験料 15,660円
- 登録料 10,260円

合計 34,020円
(別途テキスト代が必要です。)

(平成26年9月現在)

※登録料は、消費税率の変更等により、変更する場合があります。

受講修了後、翌年度末までを「受験有効期間」とし、再受講することなく試験を受けて頂くことができます。受験料が別途必要です。「受験有効期間」を過ぎますと、再度受講していただくから受験となりますので、ご注意ください。なお開催地は毎回同じとは限りませんので、予めご了承ください。

講習会の使用テキスト（CASBEE 評価マニュアル）の購入

※本講習及び試験では、次の2冊のマニュアルをテキストとして使用致します。お持ちでない場合は、予約受付フォームの使用テキスト注文チェック欄よりご購入下さい。（講習申込と同時にご注文頂いたテキストは、受講票等といっしょにご自宅宛に送付します。会場での販売・貸し出しはいたしません。事前にご購入下さい。）

- ・CASBEE 戸建（新築）（2014年版）… 3,132円（税込）
- ・CASBEE 戸建-既存 評価マニュアル（2011年版）… 3,086円（税込）

お申込み・
問い合わせ先

一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構（IBEC） CASBEE 評価員センター 戸建評価員係

TEL：03-3222-6714（平日9：30～17：30） FAX：03-3222-6100

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-5-1 全共連ビル麹町館 ホームページアドレス <http://www.ibec.or.jp/CASBEE>

※ご不明な点等ございましたら、担当までお問合せ下さい。

※当財団が本講習の申込みより取得する個人情報の利用目的は次の通りです。

・本講習に係る案内及び連絡・質問状に対する回答・その他当財団が行う講習会、セミナー等の案内

なお、個人情報保護法第24条1項に定める事項については、当財団ホームページをご覧ください。